

ソニー生命カップ 第47回全国レディーステニス大会 全国決勝大会

日時：2025年12月3日(水)～5日(金) 会場：有明テニスの森公園コート

2 R vs茨城 3 - 0

No.1 2 - 0 (61 61)

No.2 2 - 0 (61 65)

No.3 2 - 0 (62 63)

3 R vs千葉 0 - 3

No.1 0 - 2 (06 36)

No.2 1 - 2 (61 67⁽⁶⁾ 10-12)

No.3 0 - 2 (16 36)

ベスト16



3年目の宮城県代表として挑んだ大会でしたが、今年もベスト16という悔しい結果に終わってしまいました。最終日の試合を観戦し、どの県のNo.1も非常にレベルが高く、まだこの舞台で戦うには力不足だと痛感しました。ボレーの技術や、緊張した場面で力を発揮するメンタル面など、まだまだ磨くべき点が多いと感じています。

この3年間、試合に出るたびに課題が見つかり『もっと強くなりたい』と練習に励んできました。負けることでまた次の課題が生まれテニスの奥深さや面白さを改めて実感しています。3年間 No.1 として宮城県の代表を務めこの舞台で戦えたこと、そしていつも応援してくださった皆様に心から感謝しています。本当にありがとうございました。また機会があればこの舞台に挑戦したいと思います。ありがとうございました。

No.1 上田穂乃佳

3回目の挑戦での卒業を目指し、がむしゃらに頑張った1年間でした。出場するごとに出てくる課題、強くなる卒業への気持ち。3回ともベスト16という同じ結果で悔しいですが会場まで応援に来てくれた皆さん、応援の言葉を頂いた皆さんに感謝します。今年の挑戦は『覚悟』を持ってキャプテンとしてもプレーでもみんなの士気を高めていく為に1年間やり抜いたと思うので充実していました。一緒に頑張ってくれたメンバーありがとう！監督、ありがとうございます。こんなにも長期間、頑張り続けられるのは家族の理解と協力もないと出来ない事ですが本番での応援団との一体感、勝利した時の最高の瞬間…次こそは！一番長くみんなと共有したいです。

それまで修業します！

No.2 佐藤あさ美

コロナで出場辞退となってから5年、緊張と嬉しさの中むかえた初の有明。頼もしいチームの皆のお陰でこの年齢でもまだ出来る！上手くなりたい！と思えた経験でした。試合中多くの声援、監督からの声かけ、とても心強く今も耳に残っています。監督、チームの皆ありがとうございました。利江ちゃん本当にありがとう。今後も感謝の気持ちを忘れず前進あるのみ！

No.3 大西朋子

ピンクリボンの全国大会で悔しい思いをしてから1年間、全国大会に勝つために沢山練習してきました。結果はベスト16でしたが仲間と努力してきたこの1年間は私にとってとても良い経験になりました。練習からずっと見守ってくださった監督、一緒に沢山練習をして一緒に戦ってくれたチームメンバー、ペアを組んでくれた穂乃佳ちゃんには本当に感謝しています。宮城から会場に来てくださった方々の応援も大変力になりました。ありがとうございました。

No.1 千葉理沙

1年前からずっと今大会に向けて練習を頑張ってきました。あさ美ちゃんや穂乃佳ちゃんの目標であった全国優勝は、いつの間にか私の目標にもなっていました。全国大会では実力発揮できたものの優勝には届きませんでした。今もずっと悔しい気持ちが消えません。

チームメイト、監督、コーチ、家族、応援してくれた皆様へは感謝しかありません。応援が本当に力になりました。またいつかこの大会に出ることができればペアはあさ美ちゃん、今度こそ優勝したいです。

No.2 扇日菜子

去年の有明、泣く私を見て『ママ、悔しいなら頑張りなよ』と息子に言われました。そこから1年、有明はやっぱり緊張しました。だけど今年は実力以上の力が出ました。関わってくれたみんなが私に力をくれました。勝った試合も負けた試合も全部楽しかった。また代表になれたら次は自分よりも強い人に勝ってみたいです。

沢山の応援ありがとうございました。

No.3 立川利江

昨年よりも上を目指して練習を重ねベストコンディションで臨みましたが残念ながらベスト16でした。しかし、昨年よりも気持ちも強くなり最後まで誰一人諦めることなく戦い抜いて皆んな格好良かった!! 今年も練習にお付き合いくださいました皆様！ありがとうございました！そして温かく見守って下さいました御家族の皆さまに感謝致します。

監督 竹ヶ原靖子